

# ミニボートプログラム

事業 分類	姉妹 都市	教育	文化	スポーツ	保健・福祉・医療	経済
		行政	ホストタウン	外国人技能実習	オンライン	その他
自治体	日本：青森県八戸市 大久喜小学校、金浜小学校、種差小学校			海外：コロンビア川海事博物館 アメリカ合衆国オレゴン州の各小学校		

## 【事例紹介】

### 交流事業の概要

アメリカ合衆国の NPO 法人 Educational Passages が開発したミニボートプログラムは、GPS 搭載の小型無人ボート(長さ 1.4m、重さ 16kg グラスファイバー製)を海に放流し観測を通じて海洋への関心を高める教育プログラムである。

八戸市は、米国オレゴン州（アストリア市）にあるコロンビア川海事博物館(CRMM)が企画運営するミニボートプログラムに参加している。



漂流状況観測の画面

### 詳細：

【漂流中!】 ミニボートプログラム Mini-boat Program (八戸市 HP)：

[https://www.city.hachinohe.aomori.jp/bunka\\_sports/kokusaikoryu/kaigaitonokoryu/8436.html](https://www.city.hachinohe.aomori.jp/bunka_sports/kokusaikoryu/kaigaitonokoryu/8436.html)

コロンビア川海事博物館 (CRMM)：<https://www.crmm.org/miniboat-program.html>

ミニボートの位置 (Educational Passages HP)：<https://educationalpassages.org/events/crmm/>

### 交流事業の背景

八戸市の大久喜の巖島神社の鳥居は 2011 年の東日本大震災の津波により流され、約 2 年後、2 本の笠木がオレゴン州の海岸に漂着した。

この笠木は、その後たくさんの奇跡と、オレゴン州ポートランド市の方々の思いやりによって、大久喜の巖島神社へ返還され、2016 年 5 月に鳥居が再建された。この奇跡の物語は「笠木物語」として知られている。



コロンビア川海事博物館

2017年、CRMMが、太平洋でのミニボートプログラム実施にあたり、日本とプログラムを行いたいと在ポートランド日本領事事務所へ協力要請し、同領事事務所は笠木の返還再建で繋がりのあった八戸市へ打診した。八戸市から大久喜小学校、金浜小学校、種差小学校の3校が参加することとなった。



GPSを取り付けている様子



ミニボートを船へ運ぶ様子

### 交流事業の内容

八戸市が参加するCRMMのミニボートプログラムは、八戸市とオレゴン州の学校がパートナー校となりミニボートの共同製作などを行なってきた。

2017年～2019年までは、CRMM担当者が八戸市へ来訪し、小学校3校を訪問して児童へのボート製作の指導や交流を行った。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けCRMM担当者は来訪できず、オンラインにより八戸市の児童が絵付けしたミニボートの帆のお披露目の会を行った。

### 今後の展望

ミニボートプログラムは「海から拓けた」といわれる八戸市にとって重要な「海洋」に関する教育事業であり、「笠木物語」をきっかけにできたオレゴン州との繋がりを大切にする意味からもCRMMへの協力は継続していくと考える。



完成報告会の様子

(作成年月：2021年11月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。